

# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



## 2016～2017年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 新見 和男	第2485例会	2016/ 9/ 5
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 渋谷 廣慶	発 行 日	2016/ 9/12
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 平岡 健太	会 報 当 番	平岡 健太

### 会 長 あ い さ つ

会長 新見 和男



皆様こんにちは。先週はガバナー公式訪問という大事な行事に皆様の多大なるご協力を賜わり有り難うございました。改めて深くお礼申し上げます。

先週の台風により東北・北海道地方が大きな被害をこうむりました。特に岩手県のグループホームの入居者の9人の方が亡くなられたことに心が深く痛みました。被災地域の日も早い復興が待たれます。

さて、9月に入りまだまだ残暑は続いています。日中は爽やかな感じが、また朝晩は涼しく過し易くなりました。

話は変わりますが、9月9日はケンタッキーフライドチキンの創始者カーネルサンダースの誕生日だそうです。ケンタッキーフライドチキン社は、ファストフードチェーン店を運営するアメリカの企業であり、世界で初めてフランチャイズビジネスを創始しました。

日本では1970年に名古屋に1号店ができたそうです。店舗数としては、アメリカ・中国・日本の順だそうです。

ところで、店頭に立ってお客様を迎え入れるカーネルおじさんの立像は、カナダのある店舗でイベント用に作られたもので、倉庫に眠っていたものを日本の幹部が見つけて持ち帰り、飾られるようになったということです。

さて、本日の卓話は、藤池会員のキューバ視察報告です。楽しいお話が聞けるとと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

### 幹 事 報 告

幹事 渋谷廣慶



- ①例会に先立ち、本日、理事・役員会が開催されました。例会予定は皆様にお配りした通りです。特に26日の例会は、親睦委員会担当の夜間例会になります。（後日、ご案内致します。）
- ②関根政勝会員が体調を崩され、休会されております。明日にでも会長、幹事がお見舞いにお伺いし、後日皆様に報告したいと思います。
- ③クールビズは、9月一杯として、10月からはネクタイ着用とします。
- ④地区の職業奉仕部門セミナーが10月21日（金）16：30～受付開始 パレスホテル大宮にて開催されます。清水恒信会員が部門委員長ですので、是非セミナーにご参加下さい。有料ですが1人当たり2,000円、会で補助する事になりました。（参加登録は事務局にお願い致します。）

以上です。

### 委 員 長 報 告

クラブ会報委員会  
平岡健太 委員長



クラブ会報委員会で、毎回会報に載せる原稿用紙を今までは、例会開始の前に手渡しで、ご依頼をしておりましたが、今後は、予めご依頼をする方が分かっている場合は週報ボックスに予め入れておきますので、ご記入後に事務局までお出し下さい。メールの方は、当週の水曜日午前中までに事務局までご提出を宜しくお願い致します。

## 親 睦 と 奉 仕 そ し て 人 づ く り

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



## 会員卓話

パスト会長  
藤池誠治 会員

「キューバ視察報告」



### キューバ

(キューバ国旗)



**基礎データ**

- 面積: 約11万km<sup>2</sup> (本州の約半分)
- 人口: 約1,124万人 (東京都とほぼ同じ、14年)
- 名目 GDP: 約807億ドル (14年国勢調査)
- 一人あたり GDP: 7,196ドル (14年)
- 通貨: 兌換ペソ(CUP)とキューバペソ(CUP)の二重通貨制度  
為替レート: 1米ドル=1CUC=24CUP (実勢レート)
- 首都: ハバナ
- 言語: スペイン語
- 元首: ラウル・カストロ国務院議長 (フィデル・カストロ前議長が事実上最高権力者)



**キューバとは**

- 1959年のキューバ革命以降、共産党が「社会及び国家の戦術的指導勢力」として存在し、前カストロ政権が統治する社会主義国家
- サービス業(観光、医療等)を主要産業とし、工業は未発達
- 豊富な資源
  - 一人の貧困率(教育・医療の無償サービスにより、高い識字率(ほぼ100%)と低い乳児死亡率(42人/1000人)を達成。
  - 鉱物資源: ニッケル(産出量世界3位)、コバルト(産出量世界5位)。
  - 観光資源: ユネスコ文化遺産(7件)、自然遺産(2件)、美しいビーチ



### キューバの歴史


(キューバ国旗)



- ◆ 先スペイン期 シボネイ族、カリブ族などの先住民が居住
- ◆ 1492年 スペイン人による発見と植民地経営
- ◆ 1614年 慶長遣欧使節のキューバ上陸
- ◆ 1898年 米西戦争
- ◆ 1902年 キューバ独立
- ◆ 1959年 キューバ革命
- ◆ 1961年 米・キューバ断交
- ◆ 1962年 ミサイル危機
- ◆ 1991年 (ソ連の崩壊)
- ◆ 2014年 米国との関係正常化に向けた議論開始の発表
- ◆ 2015年 米国との国交再開 (正常化に向けた議論は継続)






### キューバの政治・外交・経済

(キューバ国旗)



**★政治** 社会主義国家体制を堅持しつつ、多角的な国際関係の形成を目指す

- 2008年、ラウル・カストロ国務院議長がフィデル・カストロを引継ぎ、国家元首に就任、共産党第一書記として専ら指導。
- 社会主義制度を堅持し、経済社会モデルの「現代化」に取り組む。
- 国家の統治(国民の平等の権利)と経済発展のバランスを政府が調整にコントロールしながら政策を運営。

**★外交**

- 冷戦時の旧ソ連、2000年以降のベネズエラへの過剰依存から外交関係の多角化へ。
- 米国との関係改善。
- アメリカを中心とする非同盟諸国、ラ・カルパへの医療・教育サービスを通じて影響力の拡大。
- カトリック教会とロシア正教会の和解、コロンビア政府とFARCの和平交渉などの橋を架け。

**★経済**

国営セクターが中心の計画経済、サービス産業中心の経済構造、製造業部門と農業部門の生産性向上が課題、持続的な低経済成長(2010-15年平均2.7%)、2015年は4%成長、2016年は2%成長の見通し、物品貿易赤字をサービス輸出で補う貿易構造、主要貿易相手はベネズエラ、中国、カナダ、スペイン、少ない外国投資(進出企業約700社、IMF不参加、不透明な経済指標)

**キューバの政治体制**

共産党 社会及び国家の戦術的指導勢力

国家評議会 (立法府)

閣僚評議会 (行政府)

人民代表評議会 (司法府)

**主要経済データ**

2015年 名目 GDP: 807.1億ドル (14年国勢調査)

2015年 一人あたり GDP: 7,196ドル (14年)

2015年 失業率: 10.2% (10.2%)

2015年 貿易収支: 貿易赤字 10.2億ドル (10.2%)

2015年 外債: 10.2億ドル (10.2%)



### キューバの経済

(キューバ国旗)



1959年 キューバ革命  
→ 旧ソ連に依存した社会主義経済  
→ 砂糖中心のモノカルチャー

1990年代 ソ連崩壊→「平時の非常時」と呼ばれる経済危機を経験

2000年代 ベネズエラに依存した経済回復


ラウル・カストロ政権の経済政策  
2011年 **経済社会政策方針**の策定 (基本的な経済政策方針)

- 国内経済の活性化(生産性向上・自営業増加)
- 海外投資の積極的誘致(開発特区設置等)
- 国内経済制度の改革(配給、二重通貨の廃止等)

～現状～  
**社会主義の堅持が経済政策の前提**  
⇒前進と後退の繰り返し


- 自営業業種に制限、生産性向上のインセンティブ不足による国内経済の不活性化
- 手続的障壁により海外投資伸びず
- 「痛み」を避ける経済政策(制度改訂は進まず)

2016年4月第7回共産党大会  
「急がず、しかし止まらず」に現在の政策を継続する意図表明



### キューバ・米国関係

(キューバ国旗)



**経緯**

- 1959年 キューバ革命→当時の米系資産を接収 外
- 1961年 交際関係断絶→キューバの社会主義国化 キ
- 1962年 ユーバ危機→米国の対キューバ経済制裁
- 1996年 「ヘルムズ・バートン法」(制裁を立法化)

2009年4月 オバマ大統領による経済制裁の緩和  
2014年12月 外交関係再開に向けた議論開始を発表  
2015年7月 外交関係再開  
2016年3月 オバマ大統領のキューバ訪問

**制裁緩和の状況**

**観光** ○12の目的地を定め米からの渡航を許可  
▲観光旅行は認めず

**貿易** ○農産品等一部品目の米からの輸出許可  
▲キューバからの輸入は原則禁止

**送金** ○個人送金の制限撤廃  
▲国際取引でのドル使用を制限

**今後の課題: 双方に懸念があり、どこまで歩み寄れるか**

**キューバの懸念**

- 1 経済制裁
- 2 グアンタナモ基地
- 3 反政府プロパガンダ

**米国の懸念**

- 1 民主主義・人権
- 2 接収された資産
- 3 キューバ経済開放

**注視すべき点**

- 米大統領選挙の行方(米国の政策は不可逆か)
- キューバ政府の対応(特に経済政策が動くか)

その他、船・航空機の往来、ホテル、通信業のキューバ進出等が進む



### 日キューバ関係

(キューバ国旗)



**最近の日本・キューバ関係**

- 70年代、日本はキューバの発展途上の親善相手国の一つ
- 1988年、外務省がキューバを親善相手国に指定
- 2012-13年、両国関係、経済的・政治的関係の強化
- 2014年、日本・キューバ両国首脳(安倍首相・ラウル・カストロ議長)の歴史的訪問
- 2015年2月、岸田外相がキューバを訪問(日本の外務大臣として初の訪問)
- 永続的な経済協力関係の確立、官民合同企業等の設立に意図。
- 2015年11月、第1回日本・キューバ両国首脳会談の開催
- 日本から約60名(18企業、政府機関)、キューバから約40名(外国投資家等)が参加。
- 2015年9月、両国の関係強化を目的とした「アジア・太平洋経済協力会議」の一環として訪問。
- 安倍首相、岸田外相、岸田外相らと会談。

**キューバへの関心の経緯**

- 米・キューバの外交関係再開と関係改善  
→米・キューバ指定の解除、キューバへの渡航規制の一部緩和、送金制限の解除等の対キューバ制裁の一部緩和が実現。対キューバ制裁の本格的な解除に向けた期待。
- 大きなインフラ需要  
→港湾施設(マリエル港)、鉄道近代化、首都圏公共輸送近代化、エネルギーインフラ整備等
- 中長期公的対外債務のリスク軽減に関する枠組合意  
→2015年12月、バスクラフにおいて総額約111億ドルのうち、遅延金利相当分を免除し、延滞元金・約25億ドル(約25億ドル)を10年間で全額繰上返済すること等の枠組に合意。
- 様々な分野での交流  
→キューバ人野球選手が日本でプレー、デスパイネ(ロケット)、メンドーサ(巨人)等
- 日本人観光客の急増  
→2015年は前年比81%増の約14,000人。日本人観光客の伸び率は第一位。



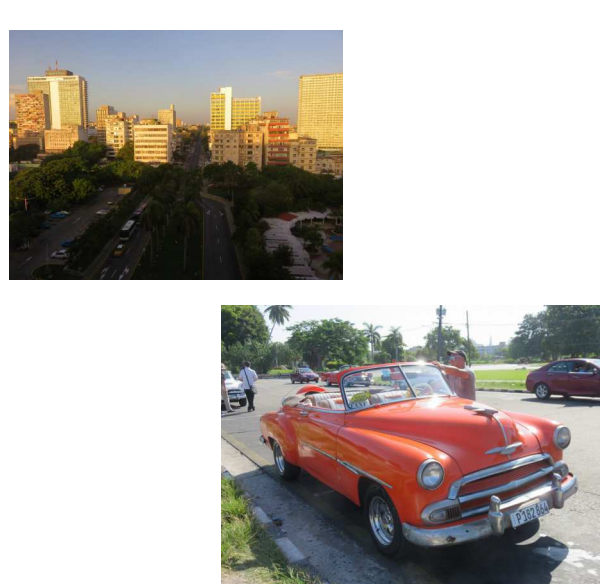
### キューバの首都ハバナへ

(キューバ国旗)



東京発～  
トロント経由～  
ハバナ着









キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ





キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ



キューバ

